

令和
7
年度

いじばのきまり 3



みなさん、
いっしょに べんきよう
しましょうね。



ことばのきまり
イメージキャラクター
ことちゃん

もくじ

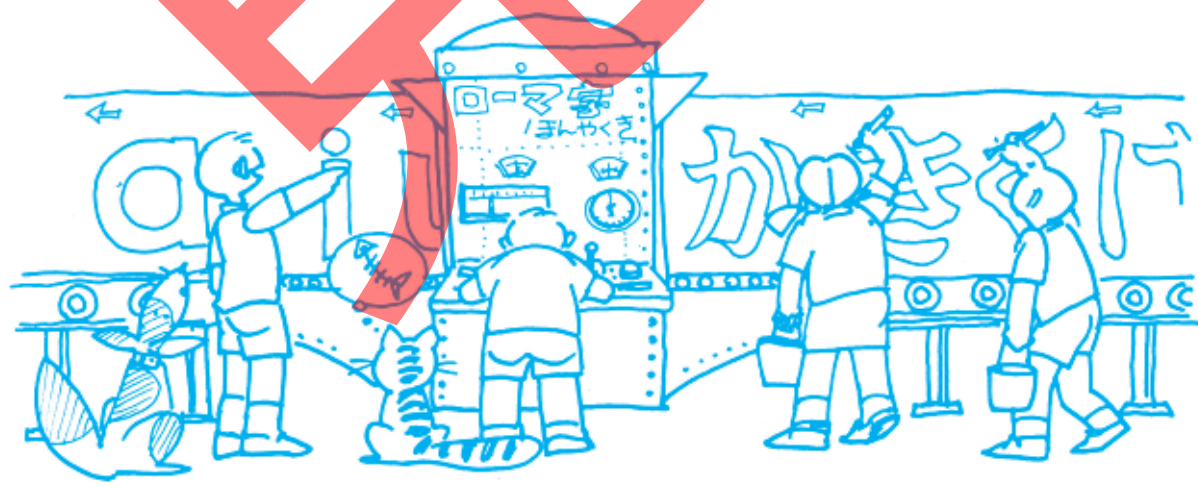
一	国語じてんの使い方	1
二	漢字の表す意味	10
三	慣用句を使う	12
四	こそあど言葉	16
五	漢字の読み方	20
六	俳句に親しもう	24
七	くわしく表す言葉	26
八	漢字の組み立てと意味	28
九	ローマ字	38(1)

表紙 岡崎

カット

豊川幸
橋谷田

浅井 優子先生
成田 綾香先生
嶋田 佑子先生
大須賀 貞治先生
中村 僚志先生
河合 桂子先生
伊藤 早紀先生





— 国語じてんの使い方

国語じてんは、

- ① 言葉の意味
- ② 漢字を使った書き表し方
- ③ 言葉の使い方

などが分かります。

「く」で始まる
言葉が集められ
ているところ

このページには、「く
かん」から「くさ」ま
での言葉がのっている。

ことわざや慣用
句がのっている
こともある。

くかんーくさ

くかん 【区間】 道路や線路で、ある地
点との間。例 一部の区間が運休にな
った。

くき 【茎】 植物のじくで、葉や花など
をつける部分。養分や水分の通り道
になっている。

くぎ 板などをとめたり、つないだり
するために打ちこむ先のとがった物。
● くぎを刺す まちがいのないよう
に、はつきり念をおす。例 ちこくし
ないようにくぎをさす。

言葉の使い方

言葉の意味

漢字を使った
書き表し方

くぎづけ 【くぎ付】
① くぎをうちつ
② その場所から
でくぎづけにな
くぎぬき 【くぎ抜】
をぬきとるため
くぎよう 【苦境】
うづう。
くぎり 【区切り】
① ものごとの切
② 詩や文章の切

言葉のならば方



① 国語じてんは、言葉が五十音じゅん

(あいうえおじゅん)でならんでいます。

↓じてんの横には目じるしがついています。

目じるしを目やすに、調べたい言葉の一文

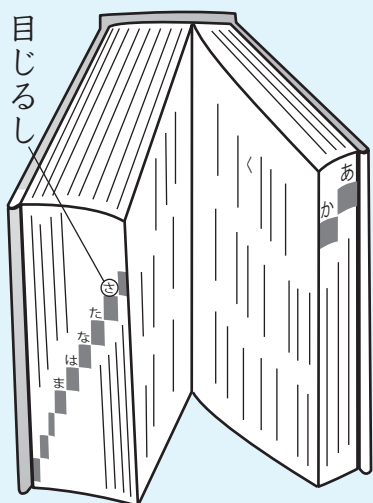
字目のだいたいのページを開きます。

早く調べるじゅもん(目じるしじゅん)

あ・か・さ・た・な・は・ま・や・ら・わ

↓二文字目、三文字目をあいうえおじゅんに

たどります。



(一) 「くき」の意味を国語じてんを使って調べま

しょう。

1 一文字目は

2 目じるしは

のまん中あたり。

3 二文字目は

あいうえおじゅんで前の方。

くき

見てみよう



「国語じてんの使い方」



多くの国語じてんには、次のようなきまりがあります。

② 清音（カ・サ・タ・ハ行）

だく音（ガ・ザ・ダ・バ行）

半だく音（パ行）

のじゅんにならんでいます。

③ かたかなの長音を表す「ー」は、

「チーム」↓「ちいむ」のように、

「ー」の、前の音を長くのばした

ときの「あ・い・う・え・お」に

おきかえてならべてあります。

④ 小さく書く「っ」や「や・ゆ・よ」は、

ふつうに書く字の後にならんでいます。

〈れい〉 ーひよう

2 ひよう

(二) 国語じてんに出てくるじゅんに、1、2、3の

番号をつけましょう。

（ ）パス

（ ）バス

（ ）はす



(三) 次の言葉の「ー」を「あ・い・う・え・お」に

おきかえて、国語じてんをつかって意味を調べましょう。

スピーチ

すぴち

意味

プール

ぷる

意味



(四) 国語じてんに出てくるじゅんに、1、2の番号をつけましょう。

1	
()	()
()	()
さつき	さつき

(五) 国語じてんに出てくるじゅんに、番号をつけましょう。

1		
()	()	()
()	()	()
あき	なつ	はる

2		
()	()	()
()	()	()
テント	てんけん	てんき

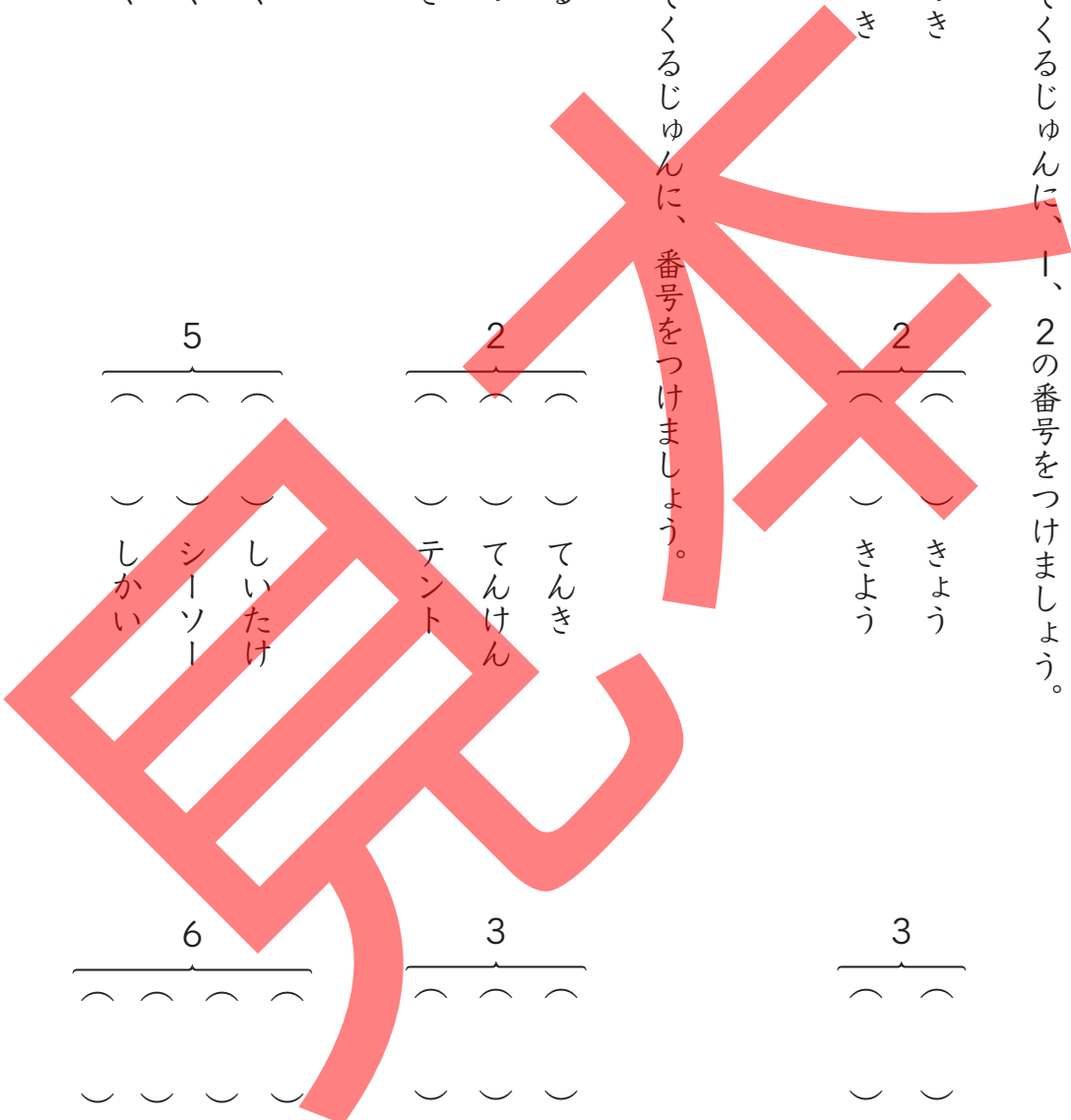
4		
()	()	()
()	()	()
かく	かぐ	がく

5		
()	()	()
()	()	()
しかい	シーソー	しいたけ

6			
()	()	()	()
()	()	()	()
びょう	ひょう	ひょう	びょう

3		
()	()	()
()	()	()
ボール	ポール	ホール

3	
()	()
()	()
りゅう	りゅう



形をかえる言葉

ことば



日本語には、形のかわる言葉があります。

たとえば、「飲む」という言葉は、後に続く言葉によって文の中で「飲まない」「飲みます」「飲めば」

というように形をかえて使われます。

国語じてんを使うときには、形のかわる言葉は「言い切りの形」に直します。

① 動き（動作）を表す言葉は、ウ段の音（「く・る・ぶ」など）で終わる形に直します。

② 様子を表す言葉は、「い」や「だ」で終わる形に直します。

(一) でかこまれた言葉の中で、国語じてんにのっている言葉を一つえらんで○をつけましょう。

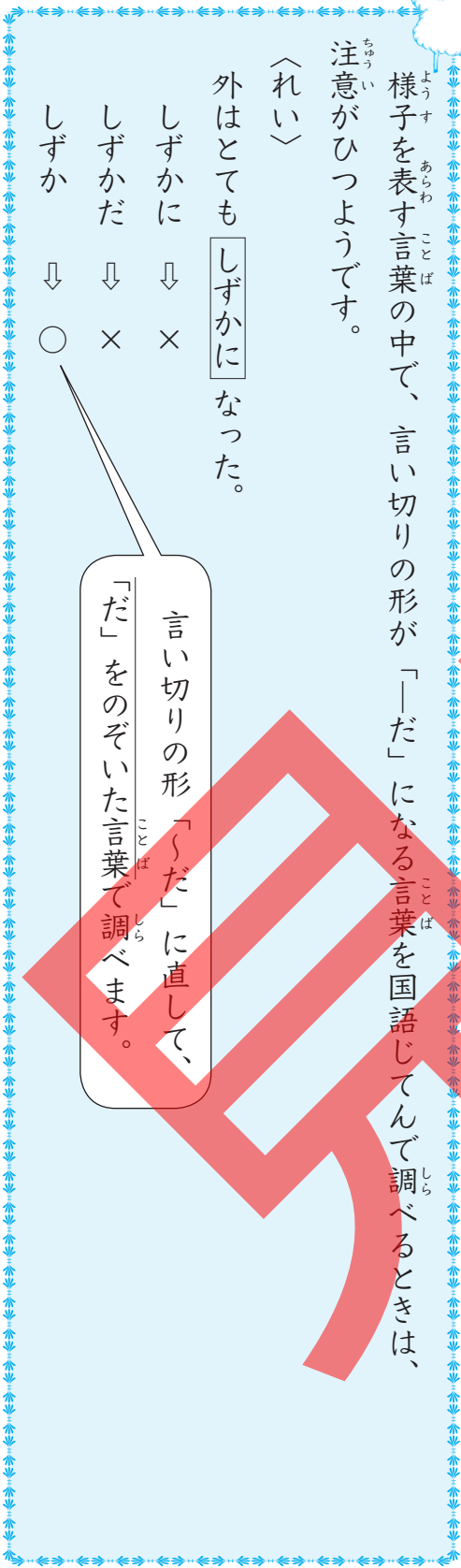
1

()	()	()
ぼくは、水を飲む。	ぼくは、水を飲みたい。	ぼくは、水を飲まない。

2

()	()	()
空が青かった。	空が青い。	空が青くて、きれいだ。





〈れい〉

外はとてもしずかになった。

しずかに
↓
×

しずかだ
↓
×

しずか

↓

○

言い切りの形「だ」に直して
「だ」をのぞいた言葉で調べます。

() わたしは、ごはんを食べる。

() わたしは、ごはんを食^たべた。

（みんなものこさず食べよう。）

かばんが軽い

かばんが軽くなる。

（ ） かばんが軽ければ持てる。

（ ） 目をとじれば思い出す。

（目をとじる）。

（ 目をとじろ。 ）

（
）
きれいな人がいる。

（ ）
ぼくはくつをきれいにした。

() この花はきれいだ。

(二) 次の――の言葉を国語じてんをひくときの形に直しましょう。

〈れい〉 ぼくたちは、お父さんをいつまでも見送りました。

見送る

1 お姉さんは、図書館に行きました。

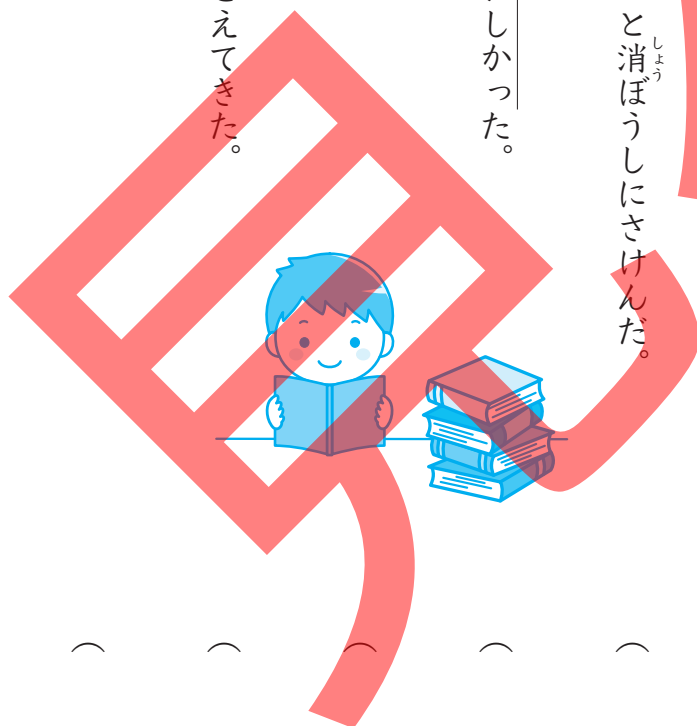
2 男の人が「あそこに人がいるぞ。助ける。」と消ぼうしにさげんだ。

3 おばさんの作ったりよう理は、とてもおいしかった。

4 どの本も全部おもしろそうだ。

5 あちらの部屋からにぎやかな話し声が聞こえてきた。

6 友だちには親切にしよう。



(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)



言葉のえらび方

日本語には、発音が同じ言葉でも意味のちがう言葉があります。

〈れい〉

あめ
雨(あめ)



言葉の前後の文を読み、いちばん合う意味をえらぶよ。



(一) 次の文の「あう」はどちらの漢字を入れるとよいでしょう。国語じてんで調べて○をつけましょう。

・わたしは、ひさしぶりに友だちとあうやくそくをした。

合う ()
会う ()

一つの言葉に、たくさんの意味がある場合があります。言葉の前後の文を読んでいちばん合う意味を

えらびましょう。

(二) 次の文の——の言葉を国語じてんで調べたら、下の

のような意味があることがわかりました。どの意味で使われているか一つえらびましょう。

・わたしの姉は、細かい心づかいのできる人です。

- ① 非常に小さい
- ② くわしい
- ③ 心が行きとどく、よく気がつく
- ④ けちくさい
- ⑤ 大したことではない

(三) 次の文の中で、——の言葉の意味を国語じてんを使って調べましょう。

1 うきうきする音がながれ、あたりはまぶしく光ります。

2 まわりの色がへんかするにつれて、体の色がかわっていくこん虫もいます。

3 コノハチョウの羽は、表はあざやかな青とオレンジ色です。

4 つばみさんが、首をかしげていると、むすめは言いました。

意味がたくさんあるものは、
いちばん合う意味をえらぼう。



二 漢字の表す意味



一つの漢字が、いくつかの意味を表すことがあります。たとえば「一等」の「等」は、「もののじゆん」を表し、「平等」の「等」は「同じ」という意味を表しています。

(一) の中にある次の漢字はどのような意味で使われているでしょうか。意味のちがいによつて分けてみましょう。

1

書

本

書く

2

金

黄

金

お

金

ちよ金

金がく

金メダル

金のゆびわ

書店

書写

清書

読書



調べてみよう



漢字ペディア
「漢字一字」



(二) 次の の漢字をふくんだ言葉は、それぞれどんな意味を表しているでしょうか。あてはまる意味を下

からえらんで線でむすびましょう。

1

通

通路つうろ

通学

通かよう

とお
通る

2

行

行動

行進 こうしん

おこな
行く

行く

3

着

着物きもの

ちやく
着せき

着く

着る きる

4

親

両親 りょうしん

親友

親

親しい

5

4

一回

回
轉

回数

回
る

6

足

足も

まんぞく

- 足り^たていること

●
足





三 慣用句を使おう

二つ以上の言葉がむすびついて、とくべつな意味を表す言い方を慣用句といいます。
 〈れい〉顔 + 広い ↓ 「顔が広い」 (意味) 知り合いが多い。

(一) 次の○に、図にある体の部分の部分を指す言葉を入れ、つづけて読みましょう。



さんこうにしよう



「ことわざ・慣用句の百科事典」



(二) 次の文の――の部分^{ぶぶん}を言いかえると、のどの慣用句^{かんようく}になるでしょう。()に書きましょう。

1 遠足で十キロも歩くと、足がひどくつかれるだろうな。

2 しなければいけないことをいいかげんにやるのは、いけないことだ。

3 お母さんには、ないしよにするつもりなのに、いつもいつっかりしゃべってしまふ。

4 毎朝、家から駅^{えき}までのそうじをしている人を見かけるが、私は心から感心^{かんしん}してりっぱだと思う。

5 もし、写^{しゃ}生^{せい}会^{かい}入^いせん者^{しゃ}に自分の名前がよばれたら、聞^ききちがいではないかと思うにちがいない。

頭^{かぶ}が下^{くだ}がる 手^てをぬく 口^{くち}がすべる

足^{あし}がぼうになる 耳^{みみ}をうたがう



(三) 次の慣用句の意味は下のどれになるでしょう。線でおすびましょう。

- | | | | |
|---|---------|---|-------------------------|
| 1 | さじを投げる | • | どうにもできないこと。 |
| 2 | 水に流す | • | みこみがないとあきらめる。 |
| 3 | 手も足も出ない | • | いきおいの強いものに、さらにいきおいを加える。 |
| 4 | 火に油を注ぐ | • | たいへん好きなこと。 |
| 5 | 舌をまく | • | 前にあったふゆかいなことをなかつたことにする。 |
| 6 | 目がない | • | たいへんおどろいたり、感心したりする。 |

(四) いろいろな慣用句とその意味について調べ、表にまとめましょう。

慣用句	意味



ちょうせんしてみよう

「ことわざ・
慣用句四択クイズ 100」



(五)

1 次の慣用語の意味を調べ、それを使った短文を作りましょう。
歯を食いしばる

意味

短文

2

耳をかたむける

意味

短文



四 こそあど言葉^{ことば}

(一) 男の子が、女の子に何か言っています。それぞれの絵が、どんな話をしているか、線でむすびましょう。



このねこ、
かわいいだろう。

そのねこ、
かわいいね。

ぼくんちのねこは、
あのねこだよ。

きみんちのねこ、
どのねこのの？



(二) 友だちと動作をつけて次のようなげきをして、「こそあど言葉」について考えてみましょう。

あつし 「あつ、あそこにせみがいるよ。」

みどり 「どこ。ね、どこにいろの。」

あつし 「あの木の、ほら、上のところ。」

みどり 「ああ、あそこね。」

あつし 「きみの持っているそのあみでとうろうよ。」

みどり 「このあみで、とどくかしら。」



「こ、そ、あ、ど」で始まる、ものごと・場所などを指ししめすはたらきをする言葉を「こそあど言葉」といいます。

①この・これ・ここ・こちら・こんな……自分の近くにあるものや場所。

②その・それ・そこ・そちら・そんな……相手の近くにあるものや場所。

③あの・あれ・あそこ・あちら・あんな……自分からも相手からも遠くにあるものや場所。

④どの・どれ・どこ・どちら・どんな……いくつかある中ではつきりわからないものや場所。





「こそあど言葉」は、文の中で前に出たものを指すときにも使います。

〈れい〉母が、プリンを作ってくれました。これはわたしの太こう物です。

※「これ」は、「プリン」を指しています。

(三) ——— の言葉は、何を指しているのでしょうか。() の中からえらんで でかこみましょう。

1 向こうで大きな音がした。それを聞いた店の人たちは、急いで表に出てきた。

(向こう ・ 音 ・ 店の人たち ・ 表)

2 つくえの上にえんぴつがあります。それを取ってください。

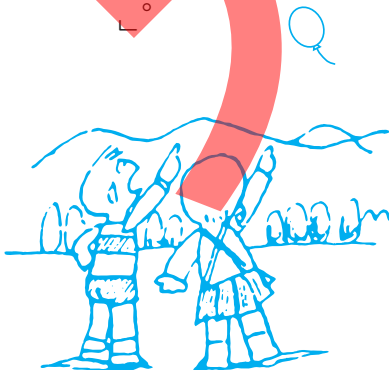
(つくえ ・ 上 ・ えんぴつ)

3 「空を丸いものがとんでいるよ。」「あつ、ほんとう。あれはいったい何かな。」

(空 ・ 丸いもの ・ いったい)

4 花がさいている。これを妹にプレゼントしよう。

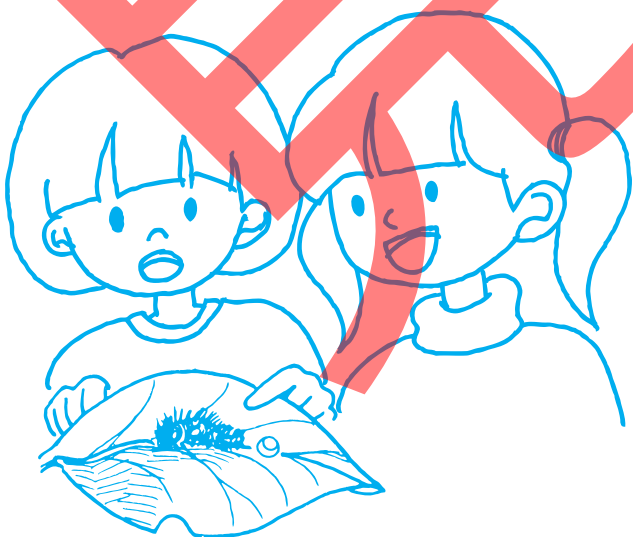
(花 ・ 妹 ・ プレゼント)



「ねえ、ちかちゃん、ちよつと見て。」
 あきちゃんは、一まいの葉^はをわたしに見せまし
 た。その上には、よう虫^{むし}がいました。
 「これは何かなあ。」
 と、わたしが聞くと、あきちゃんは、
 「たぶん、黒アゲハのよう虫^{むし}だと思うよ。」
 と言いました。よう虫^{むし}は、葉^はっぱの上でじつとし
 ています。体は、黒に白のまだらもようで、五ミ
 リぐらいでした。あきちゃんは、虫かごに、よう
 虫のついている葉^はっぱを入れて、
 「この中で、チョウになるまで育ててみるよ。」
 と言いました。

(四) 上の文し^{ことば}ょうの中から、「こそあど言^{ことば}葉」を三つ
 さがして——を引きましょう。

(五) (四)で——を引いた「こそあど言^{ことば}葉」は、何を指^さ
 しているのでしょうか。指^さしている言^{ことば}葉を
 かこみ、「こそあど言^{ことば}葉」と線でむすびましょう。





漢字の音訓

五 漢字の読み方

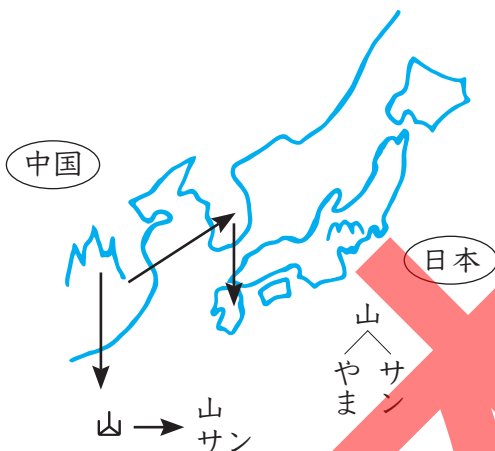
今からおおよそ千五、六百年くらい前に、中国から日本へ漢字が伝わってきました。「山」「火」「川」を「サン」「カ」「セン」と読むのは、漢字が伝わってきたときの、中国の発音をもとにしたものです。

また、日本には、漢字が伝わる前から「やま」「ひ」「かわ」という言葉があったので、同じ意味を表す「山」「火」「川」という漢字をあてはめて読

みました。

山に登ることを中国人は「登山」と書き、「トザン」と読んでいたのです。それを日本人が「山登り」と読みかえていったのです。

また、漢字の成り立ちを知って、「峠」（とうげ）のように日本で作られた漢字もあります。



「サン」・「カ」・「セン」 中国から伝わった読み方 → 「音」
「やま」・「ひ」・「かわ」 日本という言葉をあてはめた読み方 → 「訓」



次の——をつけた漢字に読みがなをつけましょう。

1 あ|の|山|は、ふ|じ|山|だ。

2 金|曜|日|に|お|金|を|は|ら|う。

3 花|び|ん|の|中|の|美|し|い|花|。

4 遊|園|地|で|遊|ぶ。

5 か|ぶ|と|虫|の|よう|虫|。

6 「火|の|用|心|」、マ|ツ|チ|一|本|火|事|の|も|と。

(一) 右のそれぞれの漢字は、一文字で何通りもの読み方をします。次の漢字はどうでしょう。教科書など

で読み方を調べ、音はかたかなで、訓はひらがなで書きましょう。

訓	音	漢字
ゆ	トウ	湯
		場
		炭
		体
		目
		音
		氷



(二) 次の漢字に読みがなをつけましょう。音読みするものはかたかなで、訓読みするものはひらがなで書きましょう。

1

空 空

空気

2

客 船

客船

3

兄 弟

兄弟

4

左 左

左右

「空」の場合、「クウ」と音読みすると、意味が分かりませんが、「そら」と訓読みすると、意味がよく分かります。

「船」「弟」「左」なども、音では意味が分かりにくいですが、訓だとすぐに意味が分かる漢字です。

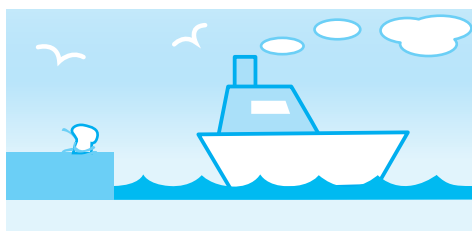
(三) 教科書やじてんなどを見て、次の音訓表をうめましょう。どちらか一方しかない場合は、×をつけましょう。

訓 くん	音 おん	漢字 かんじ
はこ	×	箱 はこ
		畑
		皿
		感
		意

音だけの漢字は、中国から伝わってきて、そのまま使われているもので、訓だけの漢字は、日本で作られたものです。

(四) 次の言葉を、送りがなに気をつけて漢字で書きましょう。

1	この道は	ほそい
	きまりが	こまかい
2	洋服を	きる
	船が港に	つく
3	夜が	あける
	部屋が	あかるい



「細」という漢字は、「ほそい」「こまかい」のように、訓読みがいくつかあります。「細い」「細かい」の——を引いた送りがなは、「細」の読み方や意味をはつきりさせるはたらきがあります。

(五) 漢字の読み方に気をつけて、送りがなをつけましょう。

1	サケが川を上	
	花火が上	
2	荷物が重	
	本を重	
3	人が通	
	学校に通	
	言葉が通	





六 俳句に親しもう

俳句は、五・七・五の十七音で表げんされるのがふつうです。世界で一番短い定型詩（決まった形のある詩）です。俳句は江戸時代に入ってさかんになりました。また、俳句には、季節をしめす「季語」を一つ入れるというきまりがあります。

(一) 次の俳句の音の区切りを——で分け、声に出して読んでみましょう。また、（ ）に——をひいた季語の季節を書きましよう。

1 雪とけて村一ぱいのこともかな
()

2 夏草やつわものどもが夢のあと
()

3 一枚の紅葉かつ散る静かさよ
()

4 スケートのひもむすぶ間もはやりつつ
()

(小林一茶)

(松尾芭蕉)

(高浜虚子)

(山口誓子)



見てみよう



NHK for School

おはなしのくにクラシック
「雪とけて～俳句①春・夏～」



NHK for School

おはなしのくにクラシック
「柿食えば～俳句②秋・冬～」



(二) 次の俳句は、小学生の友だちの作品です。俳句に表されている季節はいつでもしょう。 ———— の部分を

手がかりにして（ ）の中に季節を書きましよう。

1 ひまわりや 青空高く のびていけ

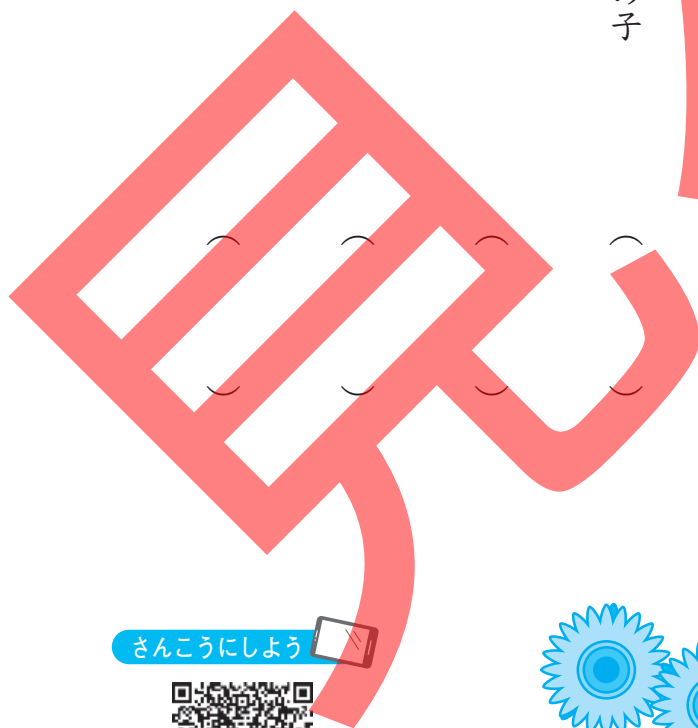
2 北風が くちぶえふいて やつてきた

3 川の土手 によきによき生える つくしの子

4 初泳ぎ はっおよ ロケットみたいに かべをける

5 入学式 はじまる前の しんこきゅう

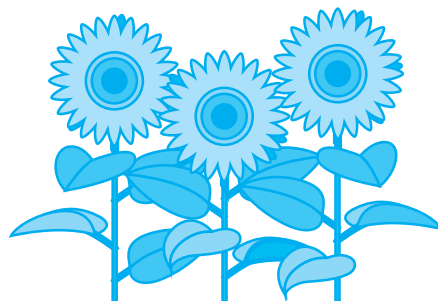
6 柿落ちる かきお アリの大群 止まったまま



さんこうにしよう



NHK for School
お伝と伝じろう
「今日は句会」





七 くわしく表す言葉

〈れい〉

花が さいた。

赤い 花が さいた。

花が きれいに さいた。

右のれい文を見ましよう。

「赤い」は、「花」がどんな様子かをくわしく表しています。また、

「きれいに」は、どのように

「さいた」のかをくわしく表しています。このように、――の言葉

の様子をくわしく表す言葉を からえらび、（ ）に書きましよう。

どんな

1

たてものが 見える。

どのように

4

赤ちゃんが

ねむる。

2

風が ふく。

5

雨が

ふる。

3

問題を とく。

6

とびうおが

とんだ。

かんたんな すずしい 白い

すやすや 高く ザーザー

(一) 次の文から主語とじゅつ語をさがし、主語には――、じゅつ語には――を引きましよう。

1 弟が おかしを 食べる。

2 ひなたで 犬が すやすや ねる。

3 彼の 話は いつも おもしろい。

4 姉が たくさんの 折り紙を わたしに くれた。

(二) 次の文からくわしく表す言葉^{ことば}をさがし、――を引きましよう。

1 赤い チューリップの 花が さく。

2 彼の えんぴつが つくえから 落ちる。

3 とても きれいな 鳥が 屋根に いる。

4 わたしは きのう 大人気の 映画を 見に行った。

まずは、主語とじゅつ語を
たしかめるんだね。それから
「何を」「何に」「や」「いつ」
「どこで」「どのように」と
いったくわしく表す言葉^{ことば}を
たしかめてみよう。



やってみよう



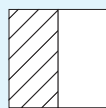
「主語と述語、しゅうしょく語」





八 漢字の組み立てと意味

漢字は、いろいろな意味や読み方を表す部分で組み立てられています。その組み立てのもとになる部分を部首といいます。部首は二百あまりもありますが、それらをいちによってなかに分けると、次の七つに分けることができます。

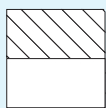


へん

〈れい〉

校

(きへん)

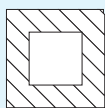


かんむり

〈れい〉

花

(くさかんむり)

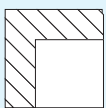


かまえ

〈れい〉

国

(くにがまえ)

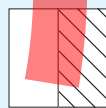


たれ

〈れい〉

広

(まだれ)



つくり

〈れい〉

頭

(おおい)



あし

〈れい〉

急

(こころ)



よう

〈れい〉

道

(しんによう
しんにゆう)

一つ一つの部首には、それぞれに名前がついています。これを知っていれば、漢字をおぼえたり、せつ明したりするときにべんりです。

(一) 次の の中に、漢字を書きましょう。

1 お日さまが出て、

は

れになる。

2 明日のお

ひる

はピクニックに行こう。

3 お日さまが出て、

あか

るくなる。

4 今日はとくに

あつ

くなる。

5

うみ

には、水がたくさんある。

6

水の中を およ

ぐ。

7

大きな水たまりが、

いけ

になりました。

8

船が なみ

を立てる。

「シ」のつく漢字には、水につながるのがある漢字が多いことが分かります。

「日」のつく漢字には、お日さまにつながるのがある漢字が多いことが分かります。



(二) 次の部首のつく字を左からえらび、
に書きましょう。

日	言	シ	禾	木	イ
ひへん	ごんべん	さんずい	のぎへん	きへん	にんべん

かんむり	3	2	つくり
ハ	ナ	ケ	頁
うかんむり	くさかんむり	たけかんむり	おおがい



板	暗	記
店	広	作
思	放	明
頭	週	歌
計	算	点
室	家	秋
茶	海	原
科	起	意
答	係	回
図	通	村
葉	教	顔
汽	開	間

5

かまえ

あし

もんがまえ

くにがまえ

こころ

れんが

れつか

7

たれ

によう

がんたれ

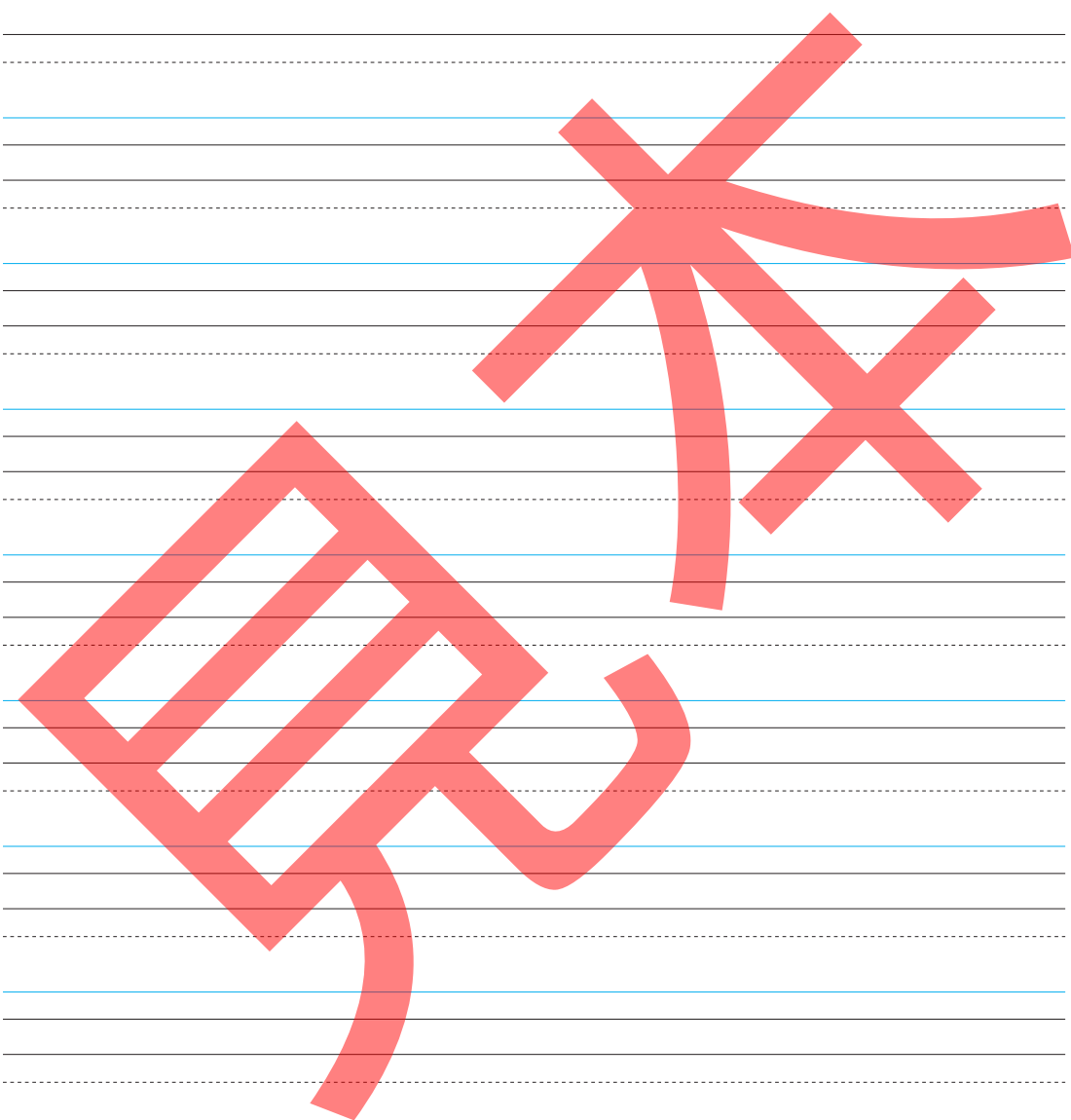
まだれ

そうによう

しんによう

6

(9) いろいろな言葉^{ことば}をローマ字で練習^{れんしゅう}してみましょう。





パソコンを使うとき^{つか}

- ① ローマ字の書き方が2つあるものは、どちらのやり方でも入力できます。

し…

S	I
---	---

 または

S	H	I
---	---	---

 ち…

T	I
---	---

 または

C	H	I
---	---	---

ふ…

H	U
---	---

 または

F	U
---	---

- ② 「ち」「づ」「を」「ん」などは、次のように入力します。

ち…

D	I
---	---

 づ…

D	U
---	---

 を…

W	O
---	---

 ん…

N	N
---	---

- (8) 次のローマ字の読み方が同じものを二つえらんで○をつけましょう。

① syo shi **sha** si

② **suki** **sushi** susi **sumi**

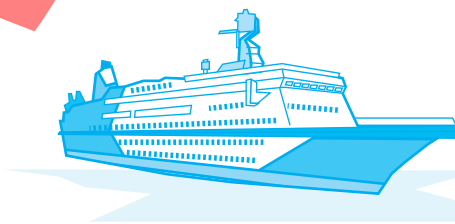
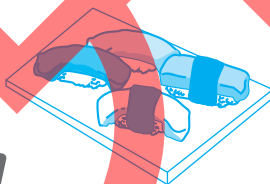
③ **miti** **mati** michi mochi

④ **futa** **fune** **fuku** huku

練習してみよう



プレイグラムタイピング
「タイピングれんしゅう」
※タブレットにキーボードを
つないで行いましょう。



(5) 次のひらがなをローマ字で書きましょう。

① きょうりゅう

② おもちや

③ らっぱ

④ ほんや



ローマ字のきまり (2)

- ① ローマ字では、人の名前や土地の名前を書くときに、さいしょの文字を大文字で書きます。

Noguti Hideyo = ^{のぐちひでよ}野口英世

- ② ローマ字表の〔 〕のようなつづりで書くことがあります。

Fukushima = ^{ふくしま}福島

Kôchi = ^{こうち}高知

Hu → Fu si → shi

ti → chi

(6) 自分の名前をローマ字で書いてみましょう。

(7) 自分の学校の名前をローマ字で書いてみましょう。





ローマ字のきまり (1)

- ① のばす音は、へのしるしをのばしたい音の母音ぼいんの上につけます。

おばさん = **obasan** → おばあさん = **obâsan**

ローマ字 = **rômazi**

- ② 小さい「や・ゆ・よ」のつく音は、母音ぼいんと子音しいんの間に **y** を入れます。

でんしゃ = **densya** ちやわん = **tyawan(chawan)**

- ③ 小さい「つ」のつく音は、「つ」を入れたい場所のすぐあとの子音しいんを二つ書きます。

にっし = **nissi** きて = **kitte**

- ④ 「ゝ」は、切るしるしとして使います。

パンや = **pan'ya**

- (4) 次のローマ字をつぎ読んでみましょう。

① **kôrogi** ()

② **imôto** ()

③ **syasin** ()
(shin)

④ **tosyokan** ()

⑤ **nikki** ()

⑥ **roketto** ()

⑦ **gin'iro** ()

⑧ **zen'in** ()

⑨ **kyûsyoku** ()

⑩ **yakyû** ()

⑪ **otôto no hon** ()





ローマ字を書くときに気をつけることは、字を書くいちです。
れんしゅう
練習をするときには、4本の線に書きます。多くの文字は、上から2本目と3本目の間に入りますが、中にはいちばん上の線や、いちばん下の線まで出るものもあります。高さや長さに気をつけて書きましょう。

(3) 次のひらがなをローマ字で書きましょう。

① あお

② いえ

③ すし

④ たこ

⑤ はる

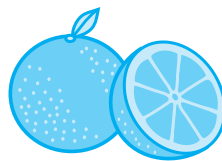
⑥ まめ

⑦ やね

⑧ ろば

⑨ おんぶ

⑩ みかん





ローマ字の五十音は、^アa・^イi・^ウu・^エe・^オo という母音と、^カk・^シs・^ハt・^ニn・^ヒh・^ミm・^ヨy・^リr・^ワw という子音を組み合わせで作られています。

(「あいうえお」は母音だけでできています。)

子音は、五十音の表で行を表します。母音は、段を表します。
たとえば、「す」は「サ行・ウ段」ですから、サ行を表す「s」と、
ウ段を表す「u」を組み合わせた「su」と書きます。

「ん」は、この組み合わせの中には入らず、「n」だけで表します。

(1) 次のローマ字を読んで、() の中に書きましょう。

① taki ()

② kawa ()

③ sumire ()

④ himawari ()

⑤ yakiniku ()

⑥ minomusi ()
(shi)

⑦ sakanaturi ()
(tsu)

⑧ sinkansen ()
(shin)



ガ・ザ・ダ・バ行の音(だく音)も、五十音と同じように、
g・z・d・b の行を表す子音と、a・i・u・e・o という段を表
す母音の組み合わせで表します。

また、パ行の音(はだく音)は、p と a・i・u・e・o という
段を表す母音の組み合わせで表します。

(2) 次のローマ字を読んで、() の中に書きましょう。

① hige ()

② bingo ()

③ daruma ()

④ zarigani ()

⑤ soroban ()

⑥ sanpo ()



9 ローマ字

日本語の書き言葉^{ことば}には、漢字^{かんじ}、かな文字のほかにローマ字があります。
ローマ字の仕組みを調べてみましょう。

左のローマ字表^{ひょう}を見て、正しく書く練習^{れんしゅう}をしましょう。

	(大文字)	ア段 ^{だん}	イ段 ^{だん}	ウ段 ^{だん}	エ段 ^{だん}	オ段 ^{だん}	(ヤ)	(ユ)	(ヨ)
(大文字)		A	I	U	E	O			
ア行		a	i	u	e	o			
カ行	K	k							
サ行	S	s							
タ行	T	t							
ナ行	N	n							
ハ行	H	h							
マ行	M	m							
ヤ行	Y	y							
ラ行	R	r							
ワ行	W	w							
ン	N	n							
ガ行	G	g							
ザ行	Z	z							
ダ行	D	d							
バ行	B	b							
パ行	P	p							

Rômazi no hyô

		だん ア段 A	だん イ段 I	だん ウ段 U	だん エ段 E	だん オ段 O	(ヤ)	(ユ)	(ヨ)
ア行		a	i	u	e	o			
カ行	K	ka	ki	ku	ke	ko	kya	kyu	kyo
サ行	S	sa	si	su	se	so	sya	syu	syo
タ行	T	ta	ti	tu	te	to	tya	tyu	tyo
ナ行	N	na	ni	nu	ne	no	nya	nyu	nyo
ハ行	H	ha	hi	hu	he	ho	hya	hyu	hyo
マ行	M	ma	mi	mu	me	mo	mya	myu	myo
ヤ行	Y	ya	(i)	yu	(e)	yo			
ラ行	R	ra	ri	ru	re	ro	rya	ryu	ryo
ワ行	W	wa	(i)	(u)	(e)	(o)			
ン	N	n				[wo]			
ガ行	G	ga	gi	gu	ge	go	gya	gyu	gyo
ザ行	Z	za	zi	zu	ze	zo	zya	zyu	zyo
ダ行	D	da	(ji)	(zu)	de	do	(zya)	(zyu)	(zyo)
バ行	B	ba	(di)	(du)	be	bo	(dya)	(dyu)	(dyo)
パ行	P	pa	pi	pu	pe	po	pya	pyu	pyo

令和7年度版 ことばのきまり 3年

編集 「ことばのきまり」編集委員会
三河教育研究会

刊行 公益財団法人愛知教育文化振興会
〒444-0868 岡崎市明大寺町馬場東170番地1
電話 0564-51-4819

印刷 株式会社 岡田印刷

※無断で複写・複製することを禁じます。

※外部ホームページリンク先は、予告なく変更・削除されることもあります。





名前

年

組

観察